

ワークシート② 「小説に書かれていない場面を想像して、考えを交流しよう」

一年 組 号 ()

- 小説に書かれている場面の展開に注意して読みましょう。(色分けしましょう。)
- 時間、場所、登場人物などが分かる言葉にマーキングをしましょう。(色分けしましょう。)
- 時間、場所、登場人物、出来事が変わるところを手掛かりに、場面分けしましょう。
- 次の表の()に適切な言葉を入れ、小説の構成をまとめてみましょう。
- 心情描写**、**情景描写**とあるところは注目したい表現のあるところですよ。当てはまるところを本文から探し、マーキングできているか確かめてみましょう。
- 場面の変わるところには……線を引きましょう。

P・L	時間・場所	登場人物	出来事	注意する言葉(情景・心情)
	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方 ・私の書斎 	<ul style="list-style-type: none"> ・客 ・私 ・末の男の子 	<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもや幼い日の思い出について話し合った。」 ・ちやうどの収集箱を見た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「昼間の明るさはく広がっていた」 ・「最初の箱をく閉ざされてしまった。」 ・心情描写 ・「彼は、ランプのくように語った」情景描写
	<ul style="list-style-type: none"> ・八つか九つ ・十歳夏 	<ul style="list-style-type: none"> ・僕 ●(客) ・妹たち ・隣の子供 ●先生の(息子) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちやうど集めを始めた。 ・この遊戯<small>ゆうぎ</small>の(とりに) 「僕の夢中な様子↓周囲の心配↓ちやうどへの気持ち↓僕の道具↓習慣↓青い(コムラサキ)」 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱情・なんともいえない、くうっとりした感じ・捕える喜びに息も詰まりそうになり・緊張と歓喜・微妙な喜びと激しい(欲望)の入り交じった気持ち ・「隣の子供」の呼称 ●「先生の息子」●「彼」 ●「模範少年」 ●「こつぱどい批評家」
	<ul style="list-style-type: none"> ・二年たって 	<ul style="list-style-type: none"> ・僕 ・エーミール ・女中 ・母 ・僕 ・エーミール ・僕 	<ul style="list-style-type: none"> ・「僕の熱情はまだ絶頂」 ・エーミールが(クジヤクヤママユ)をさなぎからかえず。 ・僕は、エーミールの(クジヤクヤママユ)を盗もうとして、ばらばらに壊してしまふ。 ・母に告白する。 ・エーミールに謝罪する。 ・ちやうどを押しつぶす 	<ul style="list-style-type: none"> ・心情描写 ・心情描写 ・心情描写 ・心情描写 ・心情描写